



FabLabHakodate の運営 / 周知活動

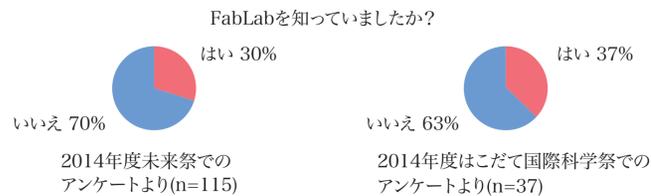
相馬 友成 Tomonari Soma / 内山 拓 Taku Uchiyama / 黒滝 理帆 Riho Kurotaki / 荻田 瑛梨香 Erika Ogita

塚田 浩二 Koji Tsukada / 美馬 のゆり Noyuri Mima / 角 康之 Yasuyuki Sumi / 迎山 和司 Kazusi Mukaiyama / 木塚 あゆみ Ayumi Kizuka

背景



昨年プロジェクト学習では「Fab文化の浸透」を目標の一つに活動していたが、「周知が足りない」という結果となった。



そこで前期では引き続き目標の一つに「Fab文化の浸透」を立て、それを達成するために3つのワークショップを開催し、SNSの更新を行った。

前期の活動の結果、以下の課題が浮かび上がった。

- ・FabLabHakodateの詳細情報が集約されている場がない
- ・FabLabHakodate自体の周知不足

目的

- ・FabLabHakodate をより周知するための活動 (ワークショップの企画・Web サイトや SNS を用いた告知)
- ・来年度への円滑な引き継ぎ (データ整理・Web サイトへの情報集約)

活動内容

公式 Web サイトの制作

目的

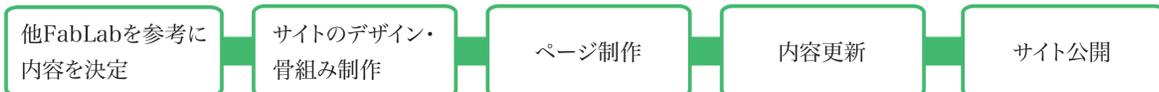
- ・FabLabHakodateの情報が集約されている場の構築
- ・Web制作プロセスの学習

SNSはFabLabHakodateの基本的な情報を載せる場としては不適と考え、Webサイトを制作した。

Wordpressで制作したのでphpのルールに沿ってコーディングする時、本で調べたり教員のアドバイスを求めることが多く、知識不足を感じた。



Webサイト公開までの流れ



Webサイトの内容より抜粋



FabLabHakodateの説明

以前は「FabLabHakodate」で検索しても適する情報が出なかった。基本的な情報を載せることで名前しか知らない人が詳しい情報を入手できるようにした。



予約フォーム

昨年おこなったFabLabのテスト運用では、施設使用願の事後提出をしてしまった。予約のできる場を作製し、来訪予定者の名前を今年度は事前に使用願に書けるようにした。

学内での FabLab のテスト運用

目的

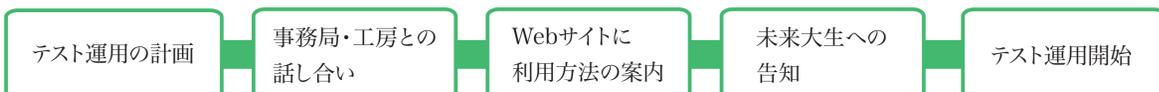
- ・学内におけるFabLabHakodateの認知度の向上
- ・FabLabの本格運用をする際の運営方法の検討
- ・Webのテスト運用

毎週水・金曜日の放課後に未来大の工房でFabLabのテスト運用を行っている。

事務や工房との話し合いでは自分たちのやりたいことをうまく伝えることが難しく、そのせいでテスト運用の開始が遅れてしまった。また、改めて大学の工房で一般開放するのは極めて困難であると感じた。



テスト運用開始までの流れ



ワークショップの企画

目的

- ・学外におけるFabLabHakodateの認知度の向上
- ・本格的な運用のためのアンケート調査

蔦屋書店でのワークショップを企画した。

WSの概要や当日のスケジュールを決めたり、機材を学外に持ち出す為の申請を行った。前期に行ったWSでSNSが広まっていないことを感じたので、このWSでは来場者にSNSのQRコードを入れた広告を配り、周知した。



ワークショップ開催までの流れ



今後の展望

- ・現状の Web サイトでは学内向けになっているため、学外向けに情報を更新する
- ・工房使用時に必要な書類やワークショップで得たデータ等をまとめて、来年度のプロジェクトメンバーが確認しやすいようにする
- ・未来大生の機材の知識を向上させ、前期の技術習得の時間を短縮し、FabLabHakodate の対外的な活動に力を注げるようにする